

模範解答

ファイナンシャル・プランニング技能検定 1級実技試験（資産設計提案業務）

平成21年9月13日実施

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人（NPO法人）

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

各科目の配点は、特に記載のない限り、公表しておりませんのでご了承ください。配点に関するお問い合わせには、お答えできません。

【第1問】

- 問1 2
- 問2 (ア)損害保険金 5 (イ)臨時費用保険金 1 (ウ)残存物取片づけ費用保険金 1
- 問3 (ア)× (イ)○ (ウ)×
- 問4 (ア)952(円) (イ)2,520(円) (ウ)498,432(円)
- 問5 4
- 問6 (ア)3,796,000(円) (イ)77,300(円) (ウ)12,600(円)
- 問7 3
- 問8 (ア)3 (イ)5 (ウ)8 (エ)7
- 問9 4
- 問10 240(日)

【第2問】

- 問11 (ア)3,023(万円) (イ)1,849(万円) (ウ)3,423(万円) (エ)2,249(万円)
- 問12 (ア)× (イ)○ (ウ)○
- 問13 (ア)○ (イ)× (ウ)× (エ)○
- 問14 (ア)2 (イ)6 (ウ)4
- 問15 3
- 問16 (下記解答例だけでなく、総合的観点から採点を行います。)
- <例> 一般的に、「適合性の原則」とは、金融商品取引業者は、株式、債券、投資信託等の金融商品を勧誘・販売する場合には、「顧客の知識、経験、財産の状況、投資目的」等の諸要素を総合的に勘案し、それぞれの顧客に見合った形で勧誘・販売をしなければならないとする原則のことである。金融商品取引法では、従来の証券取引法における適合性の原則の規定に「金融商品取引契約を締結する目的」という要件が加わっており、例えば、顧客に金融知識、投資経験、余裕資産があっても、その顧客が資産の安全運用を目的とする旨を表明している場合には、金融商品取引業者がリスクの高い商品の取引契約を締結することは適合性の原則に反するとしており、適合性チェックの重要性が高まったといえる。(318字)
- 問17 3
- 問18 14,688,000(円)
- 問19 888,100(円)
- 問20 (ア)○ (イ)× (ウ)○